

带状疱疹ワクチンの 接種費用を助成します！

日南町では、50歳以上の方を対象に、带状疱疹ワクチンの接種費用を助成しています。带状疱疹について正しく知り、予防につとめましょう。



带状疱疹ってどんな病気？



带状疱疹は、「水ぼうそう」のウイルスが原因で起こる皮膚の病気です。水ぼうそうが治った後もウイルスは神経節に潜んでおり、発症すると体の左右どちらかの一部にピリピリとした痛みが現れ、その部分に赤い発疹が出てきます。症状の多くは上半身に現れ、顔・目・頭などに現れることもあります。皮膚の症状だけでなく神経にも炎症を起こし、神経の損傷がひどいと皮膚の症状が治った後も痛みが続くことがあります。

加齢などによる免疫機能の低下が発症の原因となることがあり、50歳代から発症率が高くなります。80歳までに約3人に1人は带状疱疹になるといわれています。また、疲労やストレスなども発症のきっかけになります。日頃から体調管理を心がけ、免疫力が低下しないようにすることが大切です。

もし、「带状疱疹かな？」と感じたら、早めに医療機関を受診しましょう。

带状疱疹はワクチンで予防できます！

带状疱疹は、ワクチン接種によって発症や重症化を予防することができます。ワクチンには、生ワクチン（1回接種・副反応が少ない）と不活化ワクチン（2回接種・効果が長く続く）の2種類があります。接種料金やワクチンの取り扱いがあるかどうかなど、医療機関によって状況が異なるので、医療機関に問い合わせる必要があります。



ワクチン接種費用の助成

《対象》

50歳以上の町民（助成が受けられるのは1人2回までです。）

《ワクチンの種類》

日南病院・日野病院で使用できる「助成券」の対象となるのは、不活化ワクチンのみです。

取り扱いのあるワクチンの種類については、各医療機関にお問い合わせください。

《自己負担額》

1回につき5,000円

接種料金は、接種を希望される医療機関へお問い合わせください。

（不活化ワクチンの接種には、1回あたり22,000円程度かかります。）

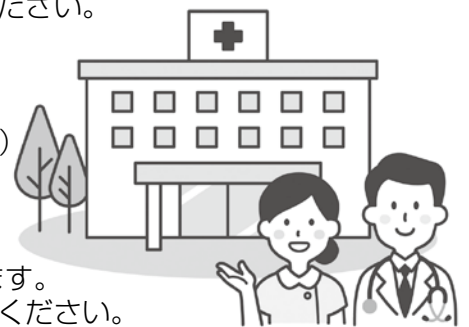
《助成を受ける方法》

●日南病院・日野病院で接種する場合

- ① 役場福祉保健課に、電話または窓口で申込みをしてください。
- ② ワクチン接種の窓口負担が5,000円になる「助成券」をお送りします。
- ③ 医療機関に予約をし、「助成券」を提出してワクチン接種を受けてください。

●その他の医療機関で接種する場合や生ワクチンを接種する場合

- ① 医療機関で全額を支払った後、役場福祉保健課へ申請をしてください。
- ② 後日、指定された口座に助成額を振り込みます。



申請窓口：役場福祉保健課
必要なもの：①領収書 ②診療明細書または予防接種済証 ③振込口座がわかるもの ④印鑑

※注意※

带状疱疹ワクチンは任意予防接種です。

任意予防接種は、予防接種法に規定されたものではありませんので、接種を受けられる際は予防接種の効果と副反応等をよくご理解いただいた上で接種を受けてください。

【申込み・問合せ】 役場福祉保健課 TEL:82-0374

